

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2018-1009	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	試料:なし 情報:脳MRI画像データ、認知心理テスト、生活習慣データ(調査票、食(生活))、センター型詳細調査データ(握力、骨密度、聴力、眼科検査)	
主たる研究機関	国立精神・神経医療研究センター			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構、いわて東北メディカル・メガバンク機構、福島県立医科大学、京都大学、京都府立医科大学	
研究題目	PADNIを含む高齢者神経疾患の大規模画像研究の基盤となるデータベース構築及びデータの活用法の開発研究			研究期間	2019年2月～2024年3月	
実施責任者	花川 隆	所属	国立精神・神経医療研究センター		職位	部長
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク機構のコホート事業内で実施されている脳画像統合データベースに収集されている脳MRIデータ、認知心理検査データを解析・活用するための研究基盤構築を行います。					
研究計画概要	国立精神・神経医療研究センター(NCNP)に脳画像データ、認知心理検査データ等の提供を行い、NCNPの解析環境でデータクレンジングおよび脳画像の1次解析、認知心理検査との関連解析を行います。更に、層別脳画像参照パネルを構築し、国内の共同研究者と共有可能な環境を整備します。最終的には、国際連携へ向けた解析基盤構築を目指しています。					
期待される成果	東北メディカル・メガバンク事業のデータは大規模な幅広い年齢層で構成されるため、NCNPの認知症及びパーキンソン病患者データに対して、健常コントロールを提供することができ、これらの疾患発症プロセスの解明による人類への貢献が可能となる。					
これまでの倫理 審査等の経過	2018年11月 国立精神・神経医療研究センター倫理委員会承認(30-651) 2019年2月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認(2018-4-083) 研究課題名:PADNIを含む高齢者神経疾患の大規模画像研究の基盤となるデータベース構築及びデータの活用法の開発研究					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	国立精神・神経医療研究センター(NCNP)へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また、提供したデータは、NCNP及びいわて東北メディカル・メガバンク機構のみが利用します。					
その他特記事項	戦略的国際脳科学研究推進プログラム(AMED)					
* 公開日	令和元年9月27日					